

2012年11月15日

環境ポータルサイト「森と地球ネット」開設！ ～ 自らの問題として「地球環境」「私たちの未来」を考えるコンテンツを設置 ～

住友林業株式会社（社長：市川 晃 本社：東京都千代田区）は、生物多様性や地球温暖化などの地球環境問題を通じ、森や木を活かすことの重要性に気づき、理解することを目的とした環境ポータルサイト「森と地球ネット」を当社ホームページ内に11月15日から開設しますので、お知らせいたします。

当社は、1691年の創業以来、木を植え、森を育み、資源として活用し、使った分はまた植える保続林業の理念のもと、森から生まれる木が地球環境と人々の暮らしに役立つよう、木の可能性を研究し、事業に活かし続けています。

本サイトは、日常生活の中で森や木との関わりが少ない方にも、生活者である自らの問題として、「地球環境」「私たちの未来」を考えていただき、再生可能で人と地球にやさしい資源である木を活かすことが地球環境問題の解決に繋がる点を理解していただくことを狙いとしています。そのうえで、持続可能な社会の実現に向けて取り組む当社の様々な事業を紹介しています。



メインコンテンツである“みんなの地球は、どこへ行く？～森の中で考えよう～”は、サイトを訪れた方が擬人化された様々な動物の目線で地球環境の現状を認識することで、その解決のために私たち人間に何ができるのかを、気づき、考えていただく構成としています。また、本年9月28日に先行して開設した、楽しみながら学ぶことができる学習用WEB サイト「森と木のひみつ」のほか、大自然の驚異や生き物の不思議、科学、世界各地の文化・歴史・遺跡などを取り上げるビジュアル・マガジン『ナショナルジオグラフィック日本版』とのタイアップサイトなど、ビジュアルやデータ、またユーザー参加型のコンテンツを多く採り入れ、地球環境問題と森林資源の有効活用、生物多様性等について、気づきや理解を促すよう工夫しています。

日本の国土の約900分の1の社有林を保有し、森林経営から木材・建材の製造・流通、住宅事業、緑化事業など、木に関わる事業をグローバルに展開する企業グループの使命として、今後も生活者の環境意識の向上に寄与するコンテンツを拡充していく方針です。

■WEBサイト「森と地球ネット」

<http://sfc.jp/environment/>

■コンテンツ

“みんなの地球は、どこへ行く？～森の中で考えよう～”

擬人化された様々な動物たちが、森の中で面白おかしく会話を交わしながら地球環境問題について考えを巡らせます。

そこから私たち人間に何ができるのかに、気づき、学ぶとともに、関係する住友林業グループの取り組みも紹介します。サイト開設時に8つのストーリーが公開されますが、今後、数話追加していく予定です。



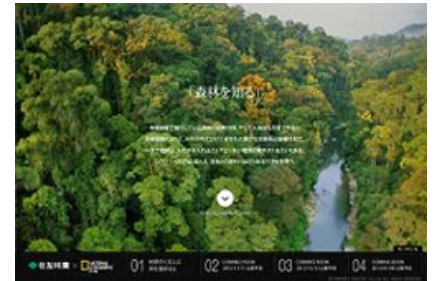
“森と木のひみつ”

株式会社学研教育出版の協力を得て、森や木のはたらき、私たち人間とのつながり、森を育て活かしていくことの大切さを次世代に伝えることを目的に作成。サイト内で紹介する情報をもとに、子どもたちが自ら考え、自発的に行動することへ繋げていくことを期待しています。



ナショナルジオグラフィック日本版×住友林業 “森林を知る”

ビジュアル・マガジン『ナショナルジオグラフィック日本版』の企画広告による、森林をテーマとした当社オリジナル連載コンテンツです。国内外の森林について、森と人、社会との関わりについて、一流写真家が撮る美しく迫力に富んだ写真とわかりやすい記事で掘り下げていきます。



100年計画の森づくり “富士山 「まなびの森」”

1996年秋の台風により大きな被害を受けた富士山麓の国有林を緑豊かな自然林として復元するために、当社が環境保全の観点から行っている自然林復元プロジェクトを紹介。一般のボランティアのほか、地元の小中学生を招いて環境学習の場としても活用しており、森林再生の取り組みをわかりやすく解説します。



以上

《本件に関するお問い合わせ》

住友林業株式会社

コーポレート・コミュニケーション室 飯塚・服部

TEL 03-3214-2270